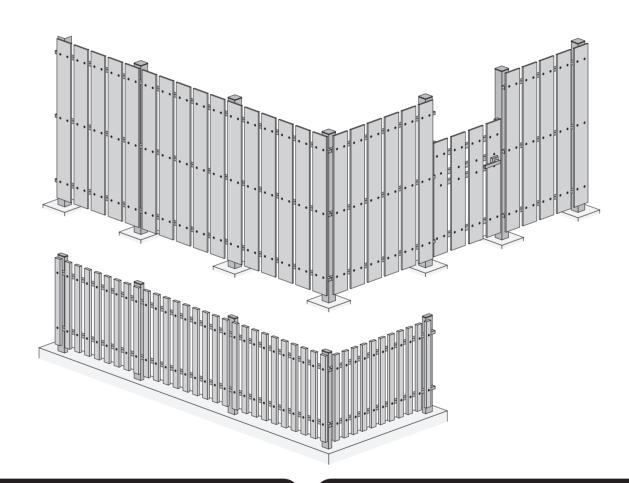
Nο	.335	٠1	6-1	n	뜌
INO	.บบบ		U	I U	піх

# 目次 ①施工・使用上のご注意 ・・・・ 1 ②最重要寸法 ・・・・ 2 ③梱包内容 ・・・・ 2 ④各部名称と基本寸法 ・・・・ 3 ⑤寸法一覧表 ・・・・ 4 ⑥設置順序 ・・・・ 5 ⑦パネルの加工 ・・・ 6 ⑧その他オプション ・・・ 6 (門扉) ・・・ 7 (笠木セット) ・・・ 8 (控え柱セット) ・・・ 9 (スクリーンフェンス仕様) ・・・ 10



# D2W140-11A

縦張り/片面/D2板140mm幅

# D2W50-11A

縦張り/片面/D2板50mm幅

# M2W135-11A

縦張り/片面/M2板135mm幅

D2W100-11A

縦張り/片面/D2板100mm幅

D2W50W100-11A

縦張り/片面/D2板50mm幅+100幅

# ①施工・使用上のご注意

### 商品お受取時のお願い

●商品の発送は細心の注意を心掛けておりますが、作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐためにお受取の際は届いた商品内容を 一度ご確認頂き、万が一不足や破損等がございましたら至急ご連絡をお願いいたします。

### 施工上のご注意

- ●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ●台風や突風などで事故がないよう、施工場所には十分ご注意ください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも比較的薄い部材のため、立て掛けたり平らでない場所や日差しの強い場所に保管しないでください。
- ●板材は素材の特性上、多少の反りや曲がりがある場合がありますが、製品上の問題はありませんので、その際は板材を矯正しながら固定してください。
- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度を十分に考慮し、ブロック高さを含めてH2,000を超える場合は、控え柱等の補強を設けるなどしてください。
- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度や高さを考慮し必要強度を保つ範囲内で、埋込みを必要長さにカットしてください。
- ●ブロック上に施工する場合は、凍結破損を防ぐため必ず4mm以上の水抜き穴をあけ、ふさがないように柱を埋め込んでください。
- ●ブロック上やコンクリート上に施工する場合は、照り返し熱によりパネルに変形の恐れがあるため下地との隙間は70mm程度あけてください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも右記のような熱による伸縮があるため、躯体や 障害物がある場合は隙間を十分取ってください。

〇軽量樹脂板(D2パネル)

表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約3mm伸縮

〇人工木板(M2パネル)

表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約2mm伸縮

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため、日中や日差しが強い時など高温になりますので、施工時は保護具を使用 してください。
- ●軽量樹脂板、人工木材はペンキや接着剤の使用、釘での固定は避け、必ず柱側に下穴をあけてからタッピングネジを使用して ください。

### 使用上のご注意

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため日中や日差しが強い時など高温になりますので、日中直接手を触れる際は十分 注意してください。
- ●本商品は熱による変形が生じやすい材料の為、熱を発生するものや高温となる場所、近くでの火気のご使用はお避けください。
- ●人工木柱および人工木板は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますので、こまめなメンテナンスをおすすめします。
- ●人工木材は、経年変化により発生した成分が直接あるいは雨水などと混じり衣類等に付く場合がありますので、衣類・布団・ 洗濯物などが直接触れないようにしてください。
- ●フェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりなどの過度な負荷、柱や板への強い衝撃、重量物の積載などは倒壊や 破損の原因となりますので絶対にしないでください。

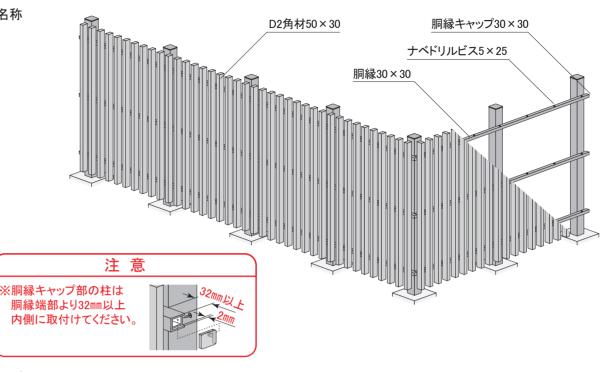
### お手入れ方法

- ●人工木板や人工木柱の表面に万が一傷が付いた場合は、サンドペーパー(#60)やヤスリ等で擦ると目立たなくなります。その際は、必ず長手方向の目に沿ってこすってください。
- ●軽量樹脂材の表面に万が一傷が付いた場合は、ペーパー(#80)やメラミンスポンジで長手方向に軽く擦り、布等で拭き取ると目立たなくなります。



# ⑧その他オプション (スクリーンフェンス仕様)

■各部名称



### ■取付け方法

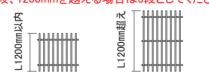
①丸穴をあけた胴縁30×30に角材を取付け、パネル本体を 組み立てる。

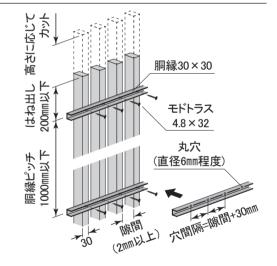
### 注意

※パネル本体組立の際、本体の重量を考慮して 分割しながら組み立ててください。

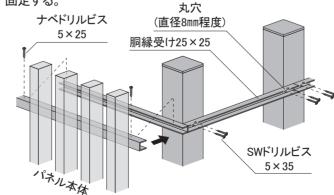
### 注 意

※パネル本体高さが1200mm以下の場合は胴縁 2段、1200mmを越える場合は3段としてください



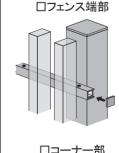


②アルミ柱に胴縁受け25×25を取付け、パネル本体を 固定する。



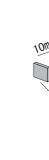
### 注 意

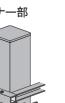
※胴縁受けは必ず丸穴(8mm)をあけ、パネル本体 を固定の際にゴムハンマー等で軽く叩くなど、 位置を微調整出来るようにしてください。 ③胴縁キャップを胴縁に固定する。

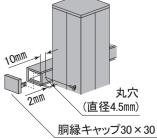


# 注 意

| ※胴縁キャップは必ず先に | ビス固定してください。



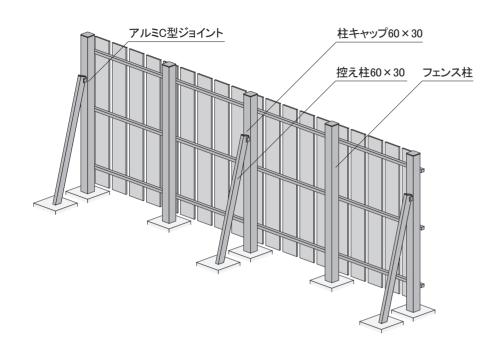




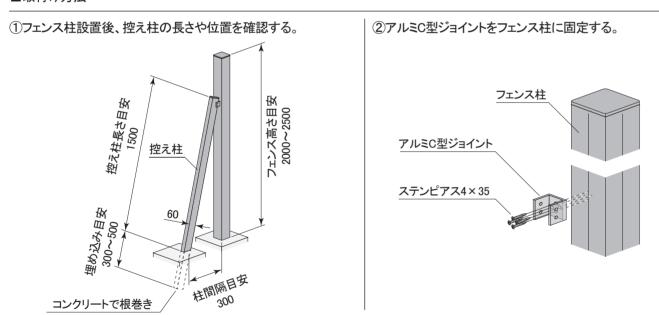
10

# ⑧その他オプション (控え柱セット)

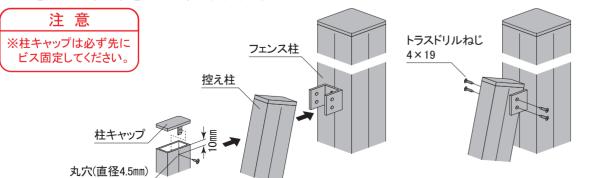
### ■各部名称



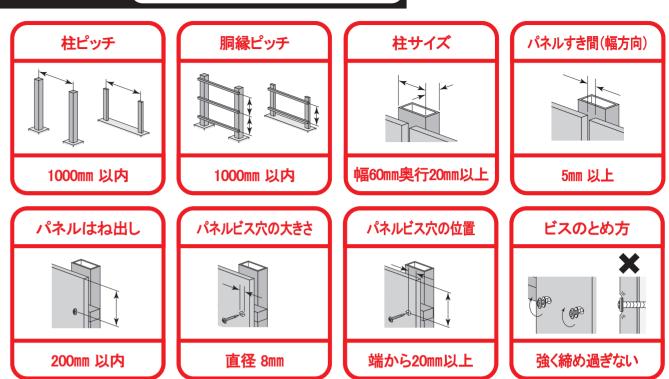
### ■取付け方法



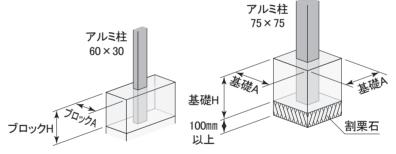
### ③柱キャップを固定した控え柱をフェンス柱に固定する。



# ②最重要寸法 必ず以下の内容をお守りください



### ■参考基礎寸法



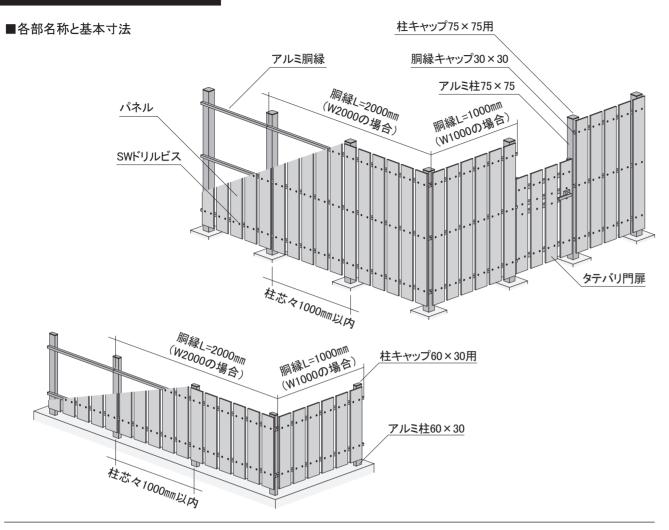
フェンスH (mm)	柱サイズ	埋込み (mm)	H寸法 (mm)	A寸法 (mm)
~1300	60×30	200	200	150
~2000	75 × 75	500	600	300

<sup>※</sup>基礎寸法は参考ですので、フェンスタイプや地盤状況、 風当り等の現場によって異なる場合があります。状況に 応じてお選びください。

# ③梱包内容

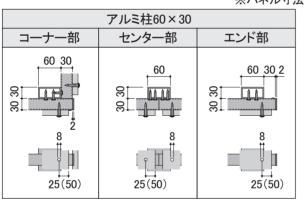
D2軽量樹脂パネル W140×T15	D2軽量樹脂パネル W100×T15	D2軽量樹脂パネル W50×T30	M2人工木パネル W135×T15	専用ビス
				SWドリルビス5×35 SWドリルビス5×50
アルミ柱75×75 キャップ75×75用(ビス付)	アルミ柱60×30 キャップ60×30用(ビス付)	アルミ横桟セット (ビス付)	キャップ30×30用(ビス付)	(ボードフェンス穴あけ治具)
		胴縁受け25×25 アルミ胴縁30×30 ナベドリルビス5×25		00000

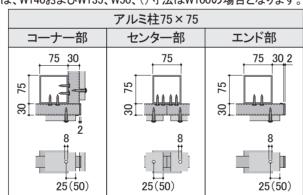
# 4 各部名称と基本寸法



### ■詳細部寸法

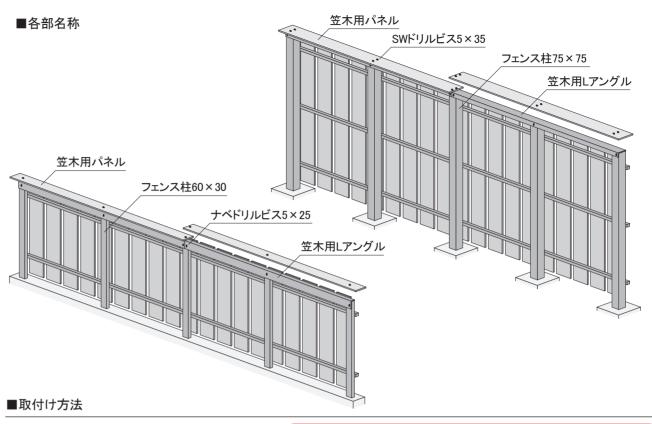
※パネル寸法は、W140およびW135、W50、()寸法はW100の場合となります。





D2軽量樹脂パネル	D2軽量樹脂パネル	D2軽量樹脂パネル	M2人工木パネル
W140×T15	W100×T15	W50×T30	W135×T15
20 20 25 25 140	20 200 100	20 25 50	20 25 25 135

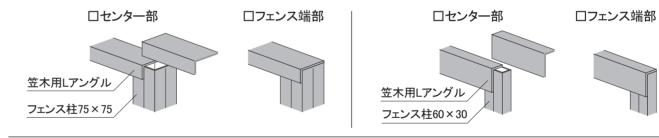
# ⑧その他オプション (笠木セット)



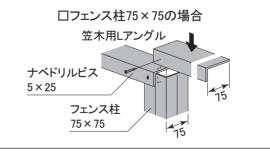
①フェンス柱設置後に、笠木用Lアングルの 位置を確認する。

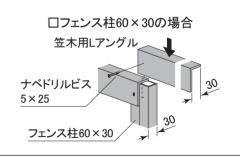
### 注 意

※寸法調整部は柱位置にあわせてカットしてください。 ※コーナー部はフェンス柱を2本使用し、各直線ごとに固定してください。 ※Lアングルは必ずフェンス柱上部を完全に塞いだ位置としてください。

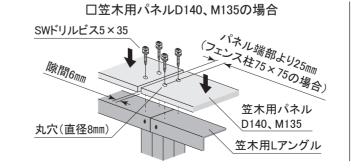


②笠木用Lアングルをフェンス柱に隙間をあけずに固定する。

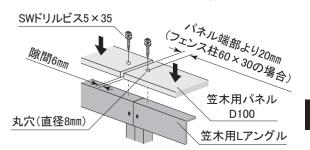




③笠木用パネルに丸穴(直径8mm)をあけ、隙間をあけてLアングルに固定する。



□笠木用パネルD100の場合



# ⑧その他オプション(門扉)

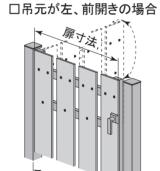
# ■各部名称 錠側柱 門扉 吊元側柱 フェンス柱 打掛錠

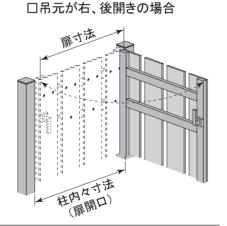
### ■取付け方法

①フェンス柱設置後に、門扉の位置 および開き方向を確認する。

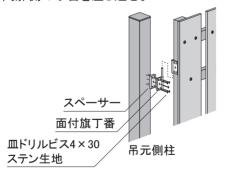
### 注 意

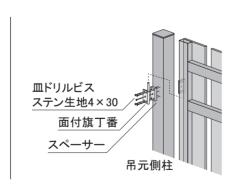
※必ず配置図や組立図を確認後に 取付けてください。





②吊元側柱に丁番を固定し、門扉側の丁番を差し込む。

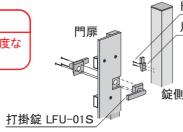


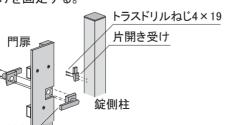


③門扉に打掛錠を取付け、錠側柱に片開き受けを固定する。

# 注意

※門扉取付後は、門扉本体に過度な 負荷や衝撃は避けてください。





# □石目打掛金具の場合 錠側柱 石目打掛金具

皿ドリルネジ4×30ステン茶

# ⑤寸法一覧表

※()寸法の隙間は任意となりますので、5mm以上の 範囲内ですき間を設けてください。

D2W140-11A	フェンスH (mm)	パネルL (横桟数)	柱サイズ (埋込み)
	680	600 (2)	
(20) (20) † † 10	880	800 (2)	60×30
	1080	1000 (2)	(200)
パネルトフェンスH	1280	1200 (2)	
140	1480	1400 (3)	
140 4 公	1680	1600 (3)	75×75 (500)
	1880	1800 (3)	

D2W100-11A	フェンスH (mm)	パネルL (横桟数)	柱サイズ (埋込み)
	680	600 (2)	
(20) (20)	880	800 (2)	60×30
	1080	1000	(200)
↑ 17/よ/ 17/エレ	1280	1200 (2)	
100 To	1480	1400 (3)	
100 世界	1680	1600 (3)	75 × 75 (500)
	1880	1800 (3)	

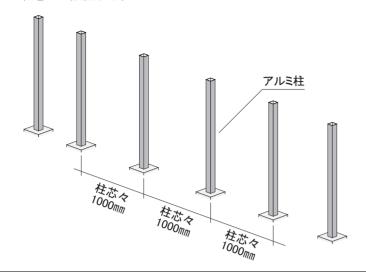
D2W50-11A	フェンスH (mm)	パネルL (横桟数)	柱サイズ (埋込み)
	680	600	(ELEVI)
(50) (50) 	880	800 (2)	60×30
	1080	1000	(200)
:::::::::::::::::::::::::::::::::::::	1280	1200 (2)	
	1480	1400 (3)	
150 単一を公開	1680	1600 (3)	75 × 75 (500)
	1880	1800 (3)	

D2W50W100-11A	フェンスH (mm)	パネルL (横桟数)	柱サイズ (埋込み)
	680	600 (2)	
(50) (50) 	880	800 (2)	60×30
	1080	1000	(200)
パネルト フェンスH カナンエンスH	1280	1200 (2)	
	1480	1400 (3)	
100 50 票	1680	1600 (3)	75 × 75 (500)
	1880	1800 (3)	

M2W135-11A	フェンスH (mm)	パネルL (横桟数)	柱サイズ (埋込み)
	680	600	(12)
(20) (20)	880	800 (2)	60×30
パネルL フェンスH	1080	1000	(200)
よ よ に は に に に に に に に に に に に に に	1280	1200 (2)	
70 135 対 期	1480	1400 (3)	
	1680	1600 (3)	75 × 75 (500)
	1880	1800	

# 6設置順序

①アルミ柱を全て設置する。



注意

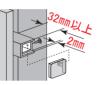
※柱は垂直に、かつ間隔は正確に設置 してください。

### 注 意

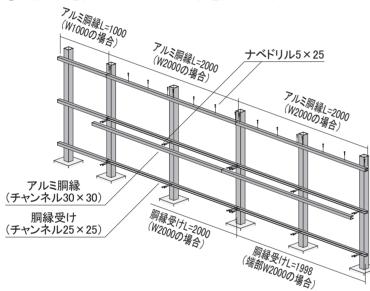
※柱ピッチは芯々1000mm以内とし、現場 状況に応じて控え柱等の補強を施して ください。

### 注 意

※胴縁キャップ部の 柱は胴縁端部より 32mm以上内側に 取付けてください。



②胴縁受けを柱に固定し、アルミ胴縁を固定する。



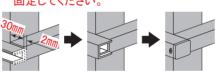
### 注 意

※胴縁キャップ部の胴縁受けは2mmカットし、 胴縁より内側に固定してください。

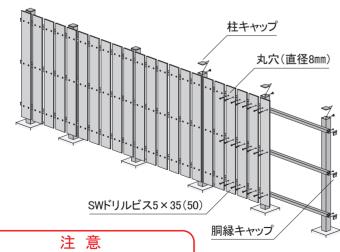


### 注 意

※コーナー部は、片側の胴縁をはね出して 固定してください。



③柱および端部胴縁にキャップを取付け、パネルをカットしビス穴をあけてから固定する。



注 意 ※キャップは必ず ビス固定して ください。 丸穴 (直径4.5mm) 丸穴 (直径4.5mm)

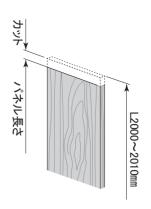
### 注 意



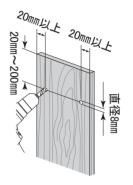
※両端部のビス穴は必ず 直径8mm、端部から20mm 以上とし、中心で固定 してください。

# ⑦パネルの加工

②-1 高さを考慮してパネルをカットする。



- ②-2 パネルにビス穴(直径8mm)をあける。
  - ・治具を利用しない場合
  - ⇒ P3(詳細部寸法)をご参照ください。



・治具を使用する場合 ⇒ 下記方法にてご使用ください。

### D140L20

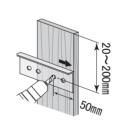
パネル幅方向を揃え、 治具外側の穴を2ヶ所 使用。





### D100L20

パネル側面を揃え、 治具内側の穴を1ヶ所 使用。





### D50L20

パネル側面を揃え、 治具外側の穴を1ヶ所 使用。

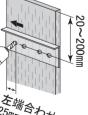




### M135L20

パネル側面をそれぞれ 揃え、治具外側の穴を 1ヶ所ずつ使用。





左端合わせ 25mm

ようにしてください。

※伸縮に対応するため

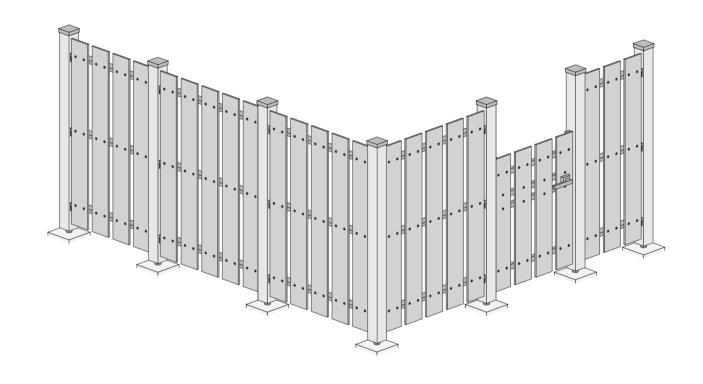
ビスは締め過ぎない



No.332:15-09版

### 目次

①施工・使用上のご注意	• • •	1
②最重要寸法	• • •	2
③梱包内容	• • •	2
④各部名称と基本寸法	• • •	3
⑤寸法一覧表	• • •	4
6設置順序	• • • •	5
⑦門扉の取付け	• • •	6
⑧パネルの幅詰め	• • • •	6



D2W140-11S10J D2W140-11S35J

縦張り/片面/D2板140mm幅

M2W135-11S15J M2W135-11S40J

縦張り/片面/M2板135mm幅

D2W100-11S15J D2W100-11S30J

縦張り/片面/D2板100mm幅

# ①施工・使用上のご注意

### 商品お受取時のお願い

●商品の発送は細心の注意を心掛けておりますが、作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐためにお受取の際は届いた商品内容を 一度ご確認頂き、万が一不足や破損等がございましたら至急ご連絡をお願いいたします。

### 施工上のご注意

- ●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ●台風や突風などで事故がないよう、施工場所には十分ご注意ください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも比較的薄い部材のため、立て掛けたり平らでない場所や日差しの強い場所に保管しないでください。
- ●板材は素材の特性上、多少の反りや曲がりがある場合がありますが、製品上の問題はありませんので、その際は板材を矯正しながら固定してください。
- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度を十分に考慮し、ブロック高さを含めてH2,000を超える場合は、控え柱等の補強を 設けるなどしてください。
- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度や高さを考慮し必要強度を保つ範囲内で、鉄芯を必要長さにカットしてください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも右記のような熱による伸縮があるため、躯体や 障害物がある場合は隙間を十分取ってください。

○軽量樹脂板(D2パネル)

表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約3mm伸縮

〇人工木板(M2パネル)

表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約2mm伸縮

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため、日中や日差しが強い時など高温になりますので、施工時は保護具を使用 してください。
- ●軽量樹脂板、人工木材はペンキや接着剤の使用、釘での固定は避け、必ず柱側に下穴をあけてからタッピングネジを使用して ください。

### 使用上のご注意

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため日中や日差しが強い時など高温になりますので、日中直接手を触れる際は十分 注意してください。
- ●本商品は熱による変形が生じやすい材料の為、熱を発生するものや高温となる場所、近くでの火気のご使用はお避けください。
- ●人工木柱および人工木板は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますので、こまめなメンテナンスをおすすめします。
- ●人工木材は、経年変化により発生した成分が直接あるいは雨水などと混じり衣類等に付く場合がありますので、衣類・布団・ 洗濯物などが直接触れないようにしてください。
- ●フェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりなどの過度な負荷、柱や板への強い衝撃、重量物の積載などは倒壊や 破損の原因となりますので絶対にしないでください。

### お手入れ方法

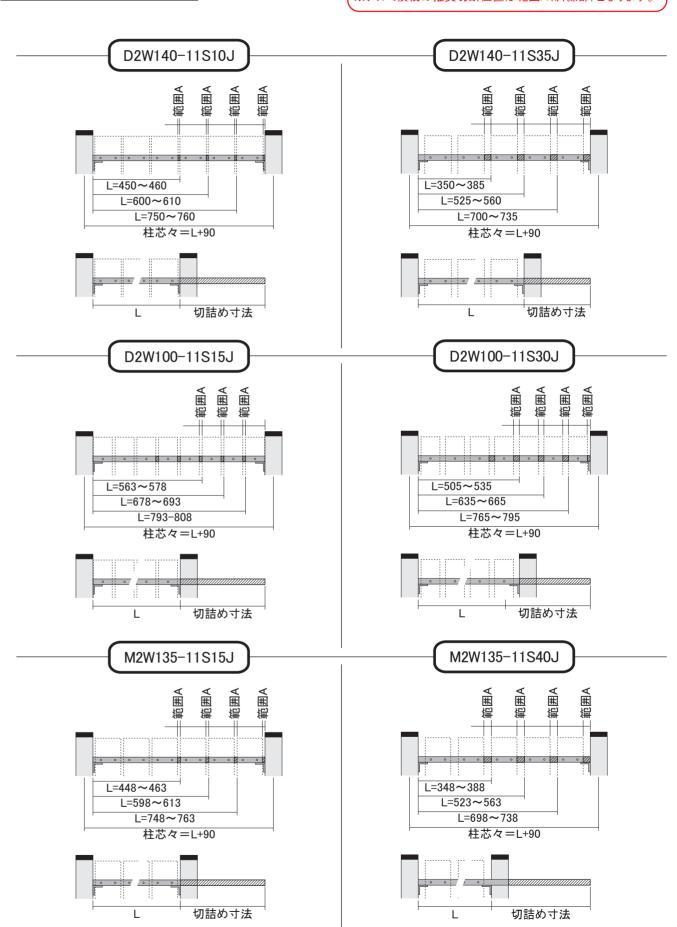
- ●人工木板や人工木柱の表面に万が一傷が付いた場合は、サンドペーパー(#60)やヤスリ等で 擦ると目立たなくなります。その際は、必ず長手方向の目に沿ってこすってください。
- ●軽量樹脂材の表面に万が一傷が付いた場合は、ペーパー(#80)やメラミンスポンジで長手方向に 軽く擦り、布等で拭き取ると目立たなくなります。



# ⑧フェンスの幅詰め

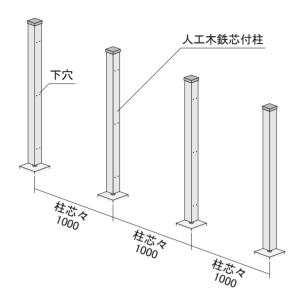
### 注 意

※アルミ横桟の推奨切断位置は範囲A(斜線部)となります。



# 6設置順序

①人工木鉄芯付柱を全て設置する。



※柱は垂直に、かつ間隔は 正確に設置してください。

注 意

### 注意

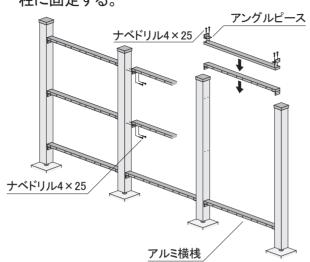
※柱ピッチは芯々1000mm以内 とし、状況に応じて控え柱等 の補強を施してください。

### 注意

※柱のエンド用、センター用、 コーナー用は下穴位置を 確認して設置してください。



### ②アルミ横桟にアングルピースを固定し、 柱に固定する。



### 注意 注意

※アングルピースと横桟は 下穴に注意して固定して ください。



### ※アルミ横桟は、仮固定して パネルで穴の位置を確認 した後本締めしてください。



### ③パネルを全て固定する。



※パネルの伸縮に対応するため、 ビスは締め過ぎないようにして ください。

注 意

※必ず配置図もしくは組立図で

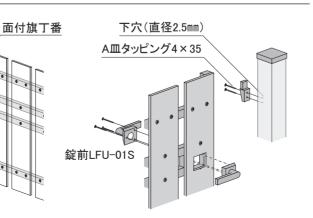
位置や開閉方向を確認して



# パネル SWドリルビス5×35

# ⑦門扉の取付け

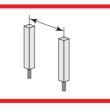
# スペーサー A皿タッピング $4 \times 35$ 下穴(直径2.5mm) 扉(吊元)用柱



# ②最重要寸法

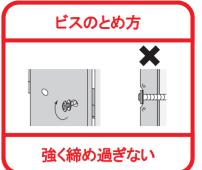
# 必ず以下の内容をお守りください



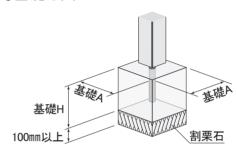


1000mm 以内





### ■参考基礎寸法



フェンスH	鉄芯L	基礎H	基礎A
(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
~1100	200	300	
~1500	350	400	300
~1900	550	600	

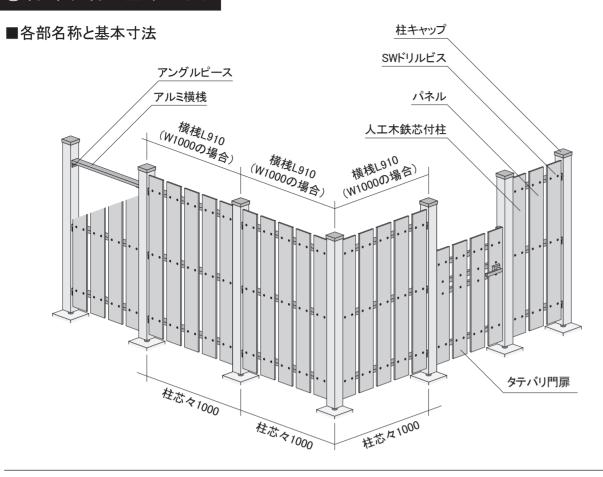
※基礎寸法は参考ですので、フェンスタイプや地盤状況、風当り等の 現場によって異なる場合があります。状況に応じてお選びください。

# ③梱包内容

D2軽量樹脂パネル W140×T15	D2軽量樹脂パネル W100×T15	M2人工木パネル W135×T15	SWドリルビス5×35
人工木鉄芯付柱 (柱キャップ付)	アルミ横桟 60×30	アングルピース	ナベドリル4×25

から取付けてください。 5

# ④各部名称と基本寸法



## ■詳細部寸法

柱エンド部	柱センター部	柱コーナー部
(隙間) 90	(隙間) 90 (隙間)	(隙間) 90 90 (深雪)
D2軽量樹脂パネル W140×T15	D2軽量樹脂パネル W100×T15	M2人工木パネル W135×T15
140 30 (80) 30 6	(50) 50	135 30 (75) 30 6

# ⑤寸法一覧表

D2W140-11S10J	フェンスH	パネルL (横桟数)	鉄芯L
パネル数(1スパン):6枚	694	594 (2)	
10 10 10	894	794 (2)	200
ルト	1094	994 (2)	
パネルトフェンスH	1294	1194 (2)	350
70	1494	1394 (3)	300
140	1694	1594 (3)	550
1000	1894	1794 (3)	550

D2W140-11S35J	フェンスH	パネルL (横桟数)	鉄芯L
パネル数(1スパン):5枚	694	594 (2)	
35 35 35 35 35 35	894	794 (2)	200
7/L 3H	1094	994 (2)	
パネルレフェンスH	1294	1194 (2)	050
70	1494	1394 (3)	350
140 税	1694	1594 (3)	EEO
1000	1894	1794 (3)	550

D2W100-11S15J	フェンスH	パネルL (横桟数)	鉄芯L
パネル数(1スパン):8枚	694	594 (2)	
2.5 15 2.5	894	794 (2)	200
	1094	994 (2)	
パネルL フェンスH	1294	1194 (2)	050
70	1494	1394 (3)	350
100	1694	1594 (3)	550
1000	1894	1794 (3)	550

D2W100-11S30J	フェンスH	パネルL (横桟数)	鉄芯L
パネル数(1スパン):7枚	694	594 (2)	
15 30 15	894	794 (2)	200
	1094	994 (2)	
パネルトフェンスH	1294	1194 (2)	250
70	1494	1394 (3)	350
100 数数	1694	1594 (3)	F.F.O.
1000	1894	1794 (3)	550

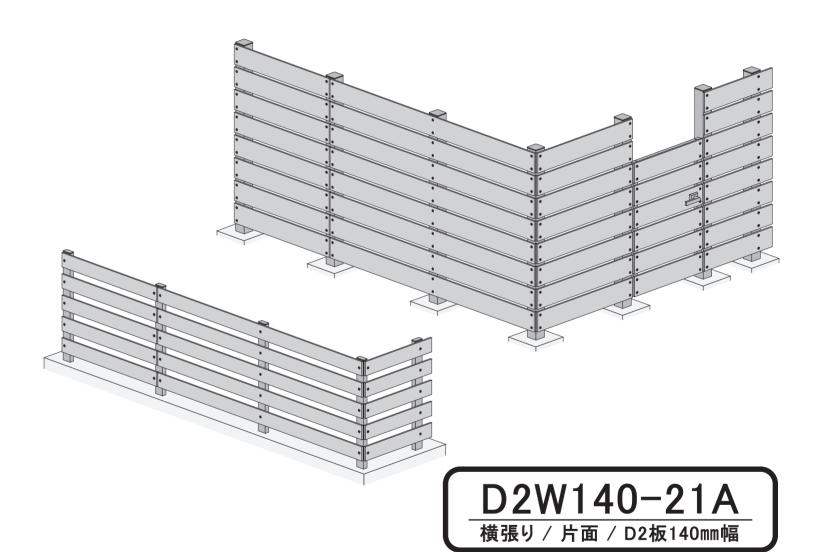
M2W135-11S15J	フェンスH	パネルL (横桟数)	鉄芯L
パネル数(1スパン):6枚	694	594 (2)	
12.5 15 12.5	894	794 (2)	200
거 사	1094	994 (2)	
パネルトフェンスH	1294	1194 (2)	050
70	1494	1394 (3)	350
135	1694	1594 (3)	550
1000	1894	1794 (3)	550

M2W135-11S40J	フェンスH	パネルL (横桟数)	鉄芯L
パネル数(1スパン):5枚	694	594 (2)	
37.5 40 37.5	894	794 (2)	200
7h/ ZH	1094	994 (2)	
パネルトフェンスH	1294	1194 (2)	350
70	1494	1394 (3)	350
135	1694	1594 (3)	550
1000	1894	1794 (3)	550

NO.334:1/-U1h/	34:17-01版
----------------	-----------

### 目次

①施工・使用上のご注意	
②最重要寸法	2
③梱包内容	2
④各部名称と基本寸法	;
⑤寸法一覧表	4
6設置順序	!
⑦パネルの加工	(
⑧その他オプション	
(門扉)	•••
(笠木セット)	8
(控え柱セット)	(
(背面補強材)	••• 1



M2W135-21A

横張り/片面/M2板135mm幅

D2W100-21A

横張り/片面/D2板100mm幅

D2W50W100-21A

横張り/片面/D2板50mm幅+100幅

D2W50-21A

横張り/片面/D2板50mm幅

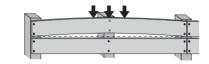
# ①施工・使用上のご注意

### 商品お受取時のお願い

●商品の発送は細心の注意を心掛けておりますが、作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐためにお受取の際は届いた商品内容を 一度ご確認頂き、万が一不足や破損等がございましたら至急ご連絡をお願い致します。

### 施工上のご注意

- ●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ●台風や突風などで事故がないよう、施工場所には十分ご注意ください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも比較的薄い部材のため、立て掛けたり平らでない場所や日差しの強い場所に保管しないでください。
- ●パネルは素材の特性上、多少の反りや曲がりがある場合がありますが、製品上の 問題はありませんので、右図のようにパネルを矯正しながら固定してください。



- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度を十分に考慮し、ブロック高さを含めて H2,000を超える場合は、控え柱等の補強を設けるなどしてください。
- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度や高さを考慮し必要強度を保つ範囲内で、埋込みを必要長さにカットしてください。
- ●ブロック上に施工する場合は、凍結破損を防ぐため必ず4mm以上の水抜き穴をあけ、ふさがないように柱を埋め込んでください。
- ●ブロック上やコンクリート上に施工する場合は、照り返し熱によりパネルに変形の恐れがあるため、下地との隙間は70mm程度あけてください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも右記のような熱による伸縮があるため、躯体や 障害物がある場合は隙間を十分取ってください。

○軽量樹脂板(D2パネル)表面温度40°C変化 ⇒ 1mあたり約3mm伸縮○人工木板(M2パネル)

表面温度40°C変化 ⇒ 1mあたり約2mm伸縮

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため、日中や日差しが強い時など高温になりますので、施工時および使用時は 保護具を使用してください。
- ●軽量樹脂板、人工木板はペンキや接着剤の使用、釘での固定は避け、ドリルビスで固定してください。

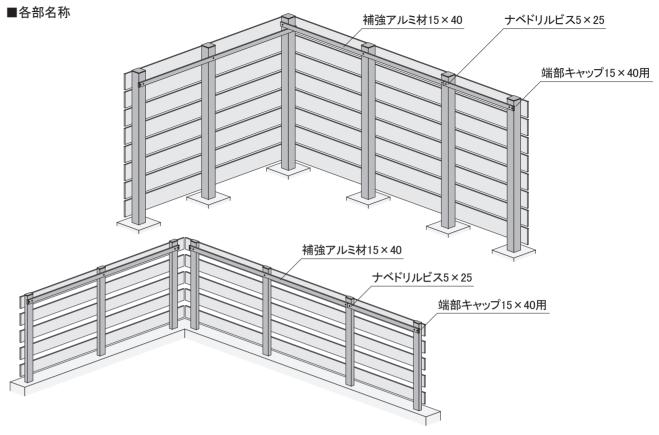
### 使用上のご注意

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため日中や日差しが強い時など高温になりますので、日中直接手を触れる際は十分 注意してください。
- ●パネルは熱による変形が生じやすい材料の為、熱を発生するものや高温となる場所、近くでの火気のご使用はお避けください。
- ●人工木柱および人工木板は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますので、こまめなメンテナンスをおすすめします。
- ●人工木材は、経年変化により発生した成分が直接あるいは雨水などと混じり衣類等に付く場合がありますので、衣類・布団・ 洗濯物などが直接触れないようにしてください。
- ●フェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりなどの過度な負荷、柱やパネルへの強い衝撃、重量物の積載などは倒壊や 破損の原因となりますので絶対にしないでください。

### お手入れ方法

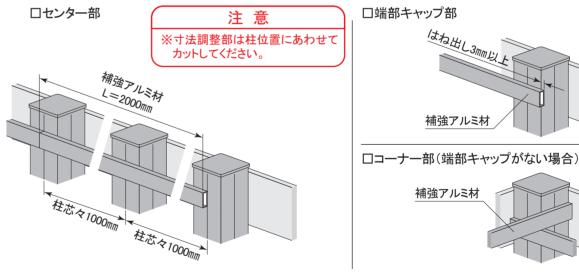
- ●人工木板や人工木柱の表面に傷が付いた場合は、サンドペーパー(#60)やヤスリ等で擦ると目立たなくなります。その際は、必ず 長手方向の目に沿ってこすってください。
- ●軽量樹脂材の表面に傷が付いた場合は、ペーパー(#80)やメラミンスポンジで長手方向に軽く擦り、布等で拭き取ると目立たなくなります。

# ⑧その他オプション(背面補強材)



### ■取付け方法

①フェンス柱設置後に、補強アルミ材の位置を確認する。



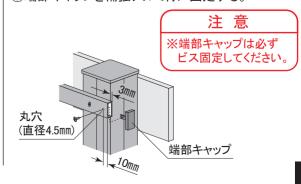
※強く締め過ぎると表面が

ご注意ください。

陥没する恐れがあるので

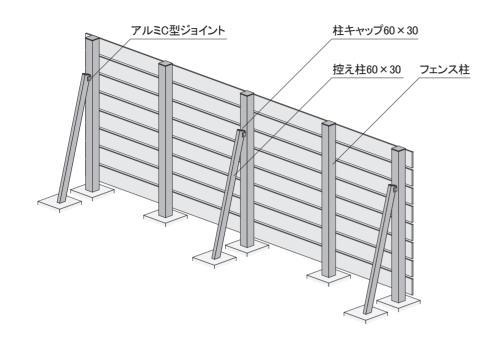
②補強アルミ材を、パネルの最上段位置にフェンス柱の 裏側より固定する。

ナベドリルビス 5×25 補強アルミ材 ③端部キャップを補強アルミ材に固定する。

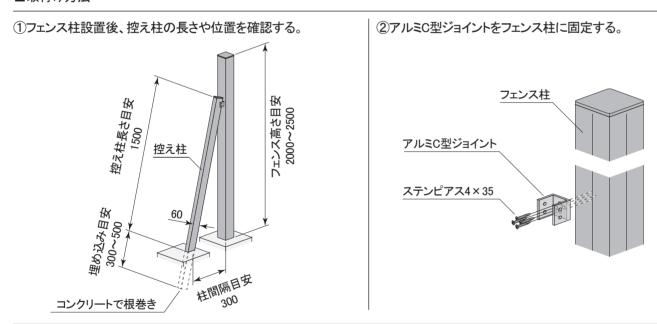


# ⑧その他オプション (控え柱セット)

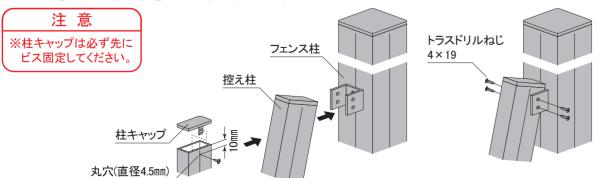
### ■各部名称



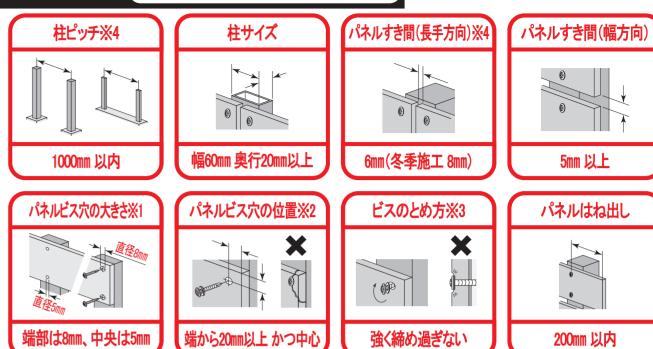
### ■取付け方法



### ③柱キャップを固定した控え柱をフェンス柱に固定する。

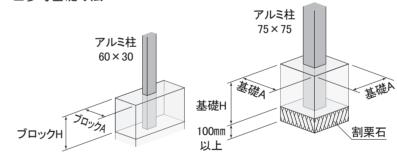


### ②最重要寸法 必ず以下の内容をお守りください



- ※1 間柱の位置を中央としてパネルの伸縮に対応する為、中央は5mm、端部は8mmのビス穴をあけてください。 ※2 ビス穴位置がパネル端部に寄り過ぎると板割れの恐れがあります。
- ※3 インパクトドライバーを使用する際は、ビスがパネルに喰い込まない程度にしてください。
- ※4 パネルの隙間が少ない場合や柱ピッチが広い場合、パネルの曲りや変形の恐れがあります。

### ■参考基礎寸法



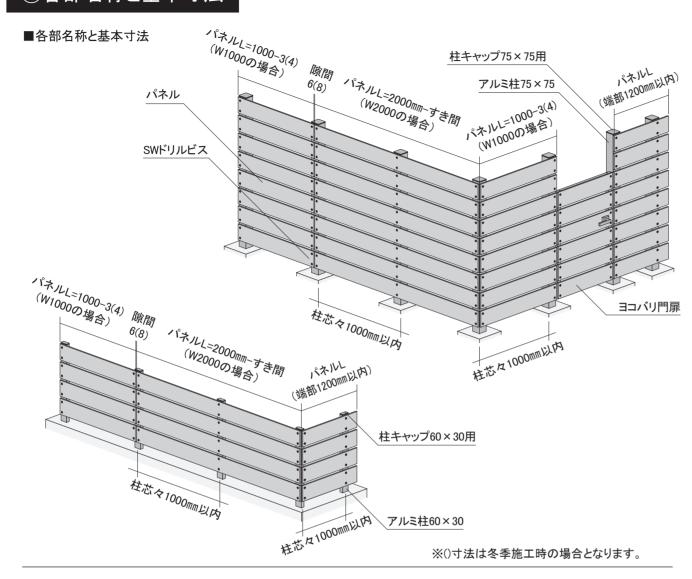
フェンスH	柱サイズ	埋込み	H寸法	A寸法
(mm)	住り1へ	(mm)	(mm)	(mm)
~1200	60×30	200	200	150
~2000	75×75	500	600	300

※基礎寸法は参考ですので、フェンスタイプや地盤状況、 風当り等の現場によって異なる場合があります。状況に 応じてお選びください。

# ③梱包内容

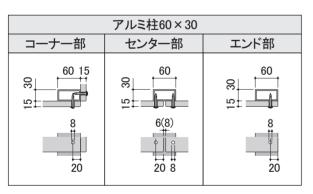
D2軽量樹脂パネル W140×T15	D2軽量樹脂パネル W100×T15	D2軽量樹脂パネル W50×T30	M2人工木パネル W135×T15
アルミ柱75×75 キャップ75×75用	アルミ柱60×30 キャップ60×30用	専用ビス	(ボードフェンス穴あけ治具)
		SWFULEZ5×35  SWFULEZ5×50	0000

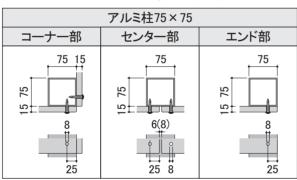
# 4 各部名称と基本寸法



### ■詳細部寸法

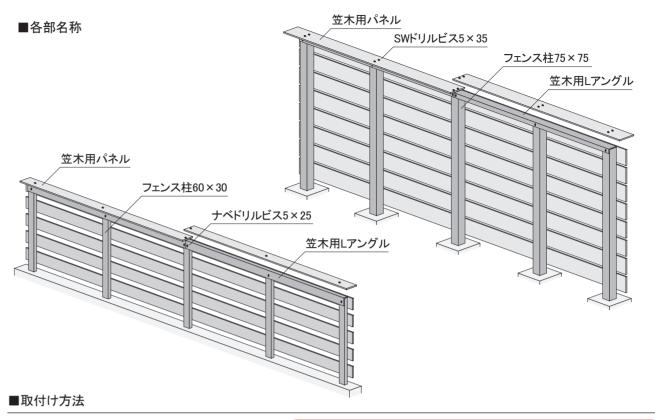
### ※()寸法は冬季施工時の場合となります。





D2軽量樹脂パネル	D2軽量樹脂パネル	D2軽量樹脂パネル	M2人工木パネル
W140×T15	W100×T15	W50×T30	W135×T15
20~200 8 52 70 140	8 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	8 8 20~200	

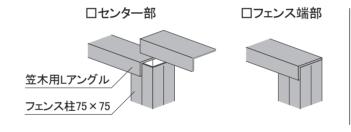
# ⑧その他オプション (笠木セット)



①フェンス柱設置後に、笠木用Lアングルの 位置を確認する。

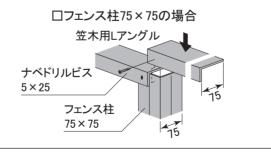
### 注 意

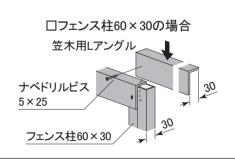
※寸法調整部は柱位置にあわせてカットしてください。 ※コーナー部はフェンス柱を2本使用し、各直線ごとに固定してください。 ※Lアングルは必ずフェンス柱上部を完全に塞いだ位置としてください。



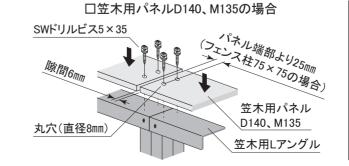
□センター部 ロフェンス端部 笠木用Lアングル フェンス柱60×30

②笠木用Lアングルをフェンス柱に隙間をあけずに固定する。

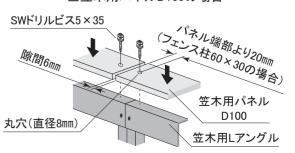




③笠木用パネルに丸穴(直径8mm)をあけ、隙間をあけてLアングルに固定する。

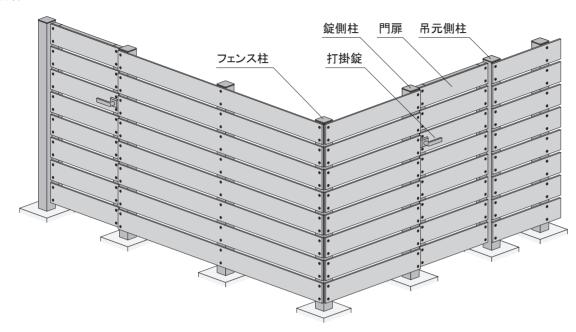


口笠木用パネルD100の場合



# ⑧その他オプション (門扉)

### ■各部名称



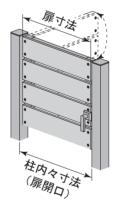
### ■取付け方法

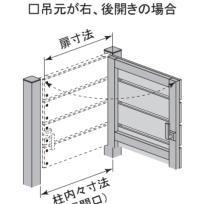
①フェンス柱設置後に、門扉の位置 および開き方向を確認する。

### 注 意

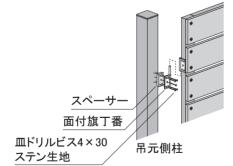
※必ず配置図や組立図を確認後に 取付けてください。

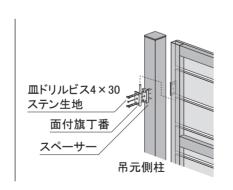




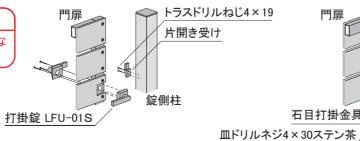


②吊元側柱に丁番を固定し、門扉側の丁番を差し込む。





③門扉に打掛錠を取付け、錠側柱に片開き受けを固定する。



# 錠側柱

石目打掛金具

# ⑤寸法一覧表

※()寸法の隙間は任意となりますので、5mm以上の 節囲内ですき間を開けてください。

D2W140-21A	フェンスH (mm)	パネル 段数	柱サイズ (埋込み)	
	540	3		
	700	4		
3 10	860	5	60×30 (200)	
	1020	6	(200)	
(20) H 140 H (20) H	1180	7		
(20) (20) 4公計	1340	8		
	1500	9	75.475	
	1660	10	75×75 (500)	
	1820	11	(000)	
	1980	12		

型四とうとりと同と聞いていた。				
D2W100-21A	フェンスH (mm)	パネル 段数	柱サイズ (埋込み)	
	420	3		
	660	5	60×30	
10	900	7	(200)	
<del></del>	1140	9		
(20) エ	1380	11		
-	1620	13	75 × 75 (500)	
70	1860	15	(300)	
車込み				

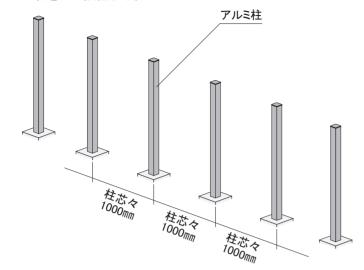
D2W50-21A	フェンスH	パネル	柱サイズ
DZWJU ZIA	(mm)	段数	(埋込み)
	630	6	
	830	8	60×30
10	1030	10	(200)
(50)	1230	12	
(50) H	1430	14	75.475
70	1630	16	75×75 (500)
種込み	1830	18	(000)

D2W50W100-21A	フェンスH	パネル	柱サイズ
DZWJOWIOU ZIA	(mm)	段数	(埋込み)
	780	3+3	
10 (50)	1030	4+4	60×30 (200)
	1280	5+5	(200)
(50) (50) H (100	1530	6+6	75 × 75
(50) H	1780	7+7	(500)
70			
神込み			
型			

M2W135-21A	フェンスH (mm)	パネル 段数	柱サイズ (埋込み)
	525	3	
	680	4	2222
10	835	5	60×30 (200)
	990	6	(200)
(20) H 135 A (20) H	1145	7	
(20)	1300	8	
70 も 公 財	1455	9	75×75
	1610	10	(500)
	1765	11	(330)
	1920	12	

# 6設置順序

①アルミ柱を全て設置する。



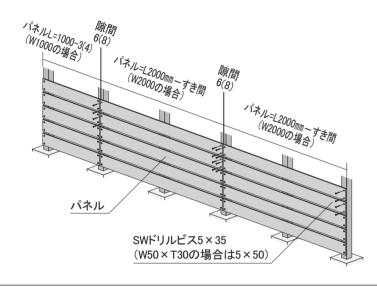
### 注 意

※柱は垂直に、かつ間隔は正確に設置 してください。

### 注意

※柱ピッチは芯々1000mm以内とし、現場 状況に応じて控え柱等の補強を施して ください。

②パネルをカットし、ビス穴をあけ両端部を固定する。



### 注意

※パネル継ぎ目は必ず 隙間をあけてください。 (夏季6mm、冬季8mm)



### 注意



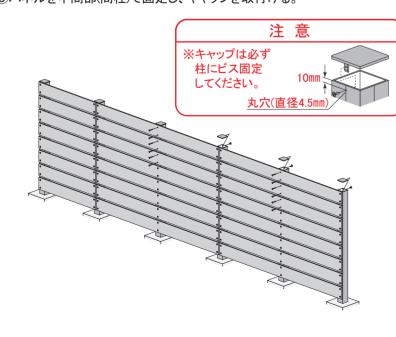
※ビス穴は必ず直径8mm、 端部から20mm以上とし、 中心で固定してください

### 注意

※伸縮に対応するため ビスは締め過ぎない ようにしてください。



③パネルを中間部(間柱)で固定し、キャップを取付ける。



### 注 意



### 注意

※パネルに曲がりがある場合、両端を 固定した後に中間部を 矯正しながら固定 してください。

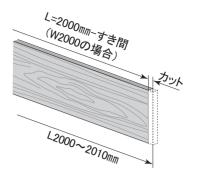
# ⑦パネルの加工

②-1 すき間を考慮してパネルをカットする。

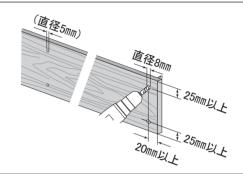
### 注意

※パネル継ぎ目は必ず 隙間をあけてください。 (夏季6mm、冬季8mm)





- ②-2 パネルにビス穴(端部は直径8mm、中央部が ある場合は直径5mm)をあける。
  - ・治具を使用しない場合
  - ⇒ P3(詳細部寸法)をご参照ください。



・治具を使用する場合 ⇒ 下記方法にてご使用ください。

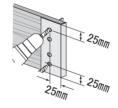
□アルミ柱75×75の場合

ロアルミ柱60×30の場合

口パネル継ぎ目やはねだし部

### D140L20

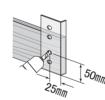
パネル幅方向を揃え、 治具外側の穴を2ヶ所使用。

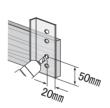


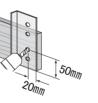


### D100L20

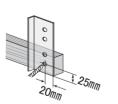
パネル側面を揃え、 治具内側の穴を1ヶ所使用。

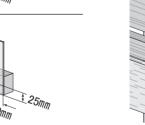




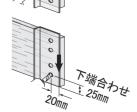


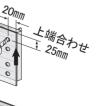


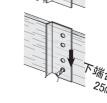












### D50L20

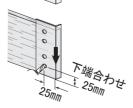
M135L20

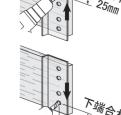
パネル側面を揃え、 治具外側の穴を1ヶ所使用。

パネル側面をそれぞれ揃え、





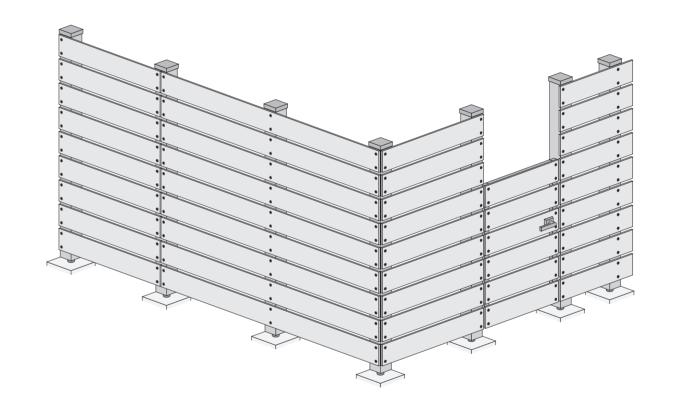




No.331:15-09版

### 目次

①施工・使用上のご注意	• • •	-
②最重要寸法	• • •	2
③梱包内容	• • •	2
④各部名称と基本寸法	• • •	(
⑤寸法一覧表	• • •	4
6設置順序	• • •	ļ
⑦パネルの幅詰め	• • •	6
⑧門扉の取付け	•••	6



D2W140-21S20J D2W140-21S80J

横張り/片面/D2板140mm幅

M2W135-21S20J M2W135-21S80J

横張り/片面/M2板135mm幅

D2W100-21S20J D2W100-21S80J

横張り/片面/D2板100mm幅

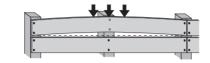
# ①施工・使用上のご注意

### 商品お受取時のお願い

●商品の発送は細心の注意を心掛けておりますが、作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐためにお受取の際は届いた商品内容を 一度ご確認頂き、万が一不足や破損等がございましたら至急ご連絡をお願い致します。

### 施工上のご注意

- ●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ●台風や突風などで事故がないよう、施工場所には十分ご注意ください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも比較的薄い部材のため、立て掛けたり平らでない場所や日差しの強い場所に保管しないでください。
- ●パネルは素材の特性上、多少の反りや曲がりがある場合がありますが、製品上の 問題はありませんので、右図のようにパネルを矯正しながら固定してください。



- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度を十分に考慮し、ブロック高さを含めて H2,000を超える場合は、控え柱等の補強を設けるなどしてください。
- ●ブロック上に施工する場合は、ブロック強度や高さを考慮し必要強度を保つ範囲内で、埋込みを必要長さにカットしてください。
- ●ブロック上やコンクリート上に施工する場合は、照り返し熱によりパネルに変形の恐れがあるため、下地との隙間は70mm程度 あけてください。
- ●軽量樹脂板、人工木板とも右記のような熱による伸縮があるため、躯体や 障害物がある場合は隙間を十分取ってください。

〇軽量樹脂板(D2パネル)

表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約3mm伸縮 ○人工木板(M2パネル)

表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約2mm伸縮

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため、日中や日差しが強い時など高温になりますので、施工時および使用時は 保護具を使用してください。
- ●軽量樹脂板、人工木板はペンキや接着剤の使用、釘での固定は避け、必ず柱側に下穴をあけてからビス固定してください。

### 使用上のご注意

- ●軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため日中や日差しが強い時など高温になりますので、日中直接手を触れる際は十分 注意してください。
- ●パネルは熱による変形が生じやすい材料の為、熱を発生するものや高温となる場所、近くでの火気のご使用はお避けください。
- ●人工木柱および人工木板は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますので、こまめなメンテナンスを おすすめ」ます
- ●人工木材は、経年変化により発生した成分が直接あるいは雨水などと混じり衣類等に付く場合がありますので、衣類・布団・ 洗濯物などが直接触れないようにしてください。
- ●フェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりなどの過度な負荷、柱やパネルへの強い衝撃、重量物の積載などは倒壊や 破損の原因となりますので絶対にしないでください。

### お手入れ方法

- ●人工木板や人工木柱の表面に傷が付いた場合は、サンドペーパー(#60)やヤスリ等で擦ると目立たなくなります。その際は、必ず 長手方向の目に沿ってこすってください。
- ●軽量樹脂材の表面に傷が付いた場合は、ペーパー(#80)やメラミンスポンジで長手方向に軽く擦り、布等で拭き取ると目立たなくなります。

# ⑦パネルの幅詰め

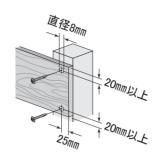
### 注意

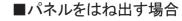
※パネルを幅詰めする際は、必ず下記寸法をお守りください。

D2W140-21S20J

D2W140-21S80J

■パネル端部で固定する場合





■パネルをはね出す場合

■パネルをはね出す場合

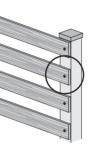




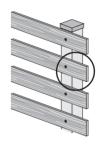
D2W100-21S20J

D2W100-21S80J

■パネル端部で固定する場合





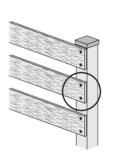


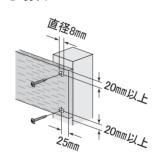


M2W135-21S20J

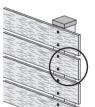
M2W135-21S80J

■パネル端部で固定する場合



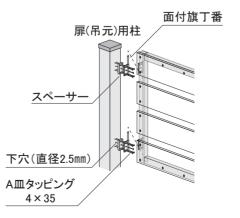


錠前LFU-01S





# ⑧門扉の取付け



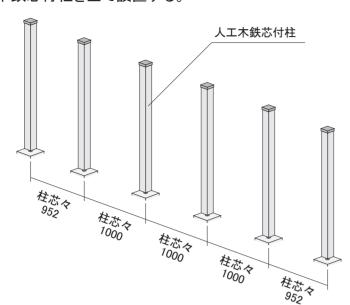
### 注 意 ※必ず配置図もしくは組立図で位置や開閉方向を 確認してから取付けてください。

A皿タッピング 4×35 下穴(直径2.5mm)

1

# 6設置順序

### ①人工木鉄芯付柱を全て設置する。



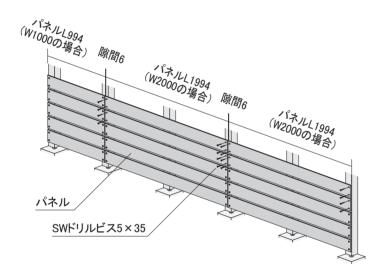
### 注 意

※柱は垂直に、かつ間隔は正確に設置 してください。

### 注 意

※柱ピッチは芯々1000mm以内とし、現場 状況に応じて控え柱等の補強を施して ください。

### ②柱側に下穴をあけ、パネル両端部を固定する。



### 注意

※パネル継ぎ目は必ず 隙間をあけてください。



### 注 意



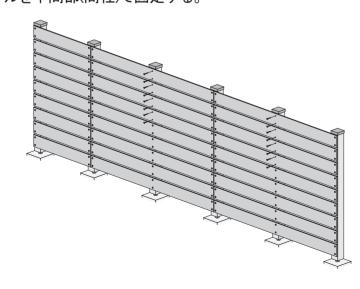
※柱側に下穴をあけ、 パネルの長穴中心で 固定してください。 下穴(直径3.5mm)

### 注意

※伸縮に対応するため ビスは締め過ぎない ようにしてください。



### ③パネルを中間部(間柱)で固定する。



### 注 意



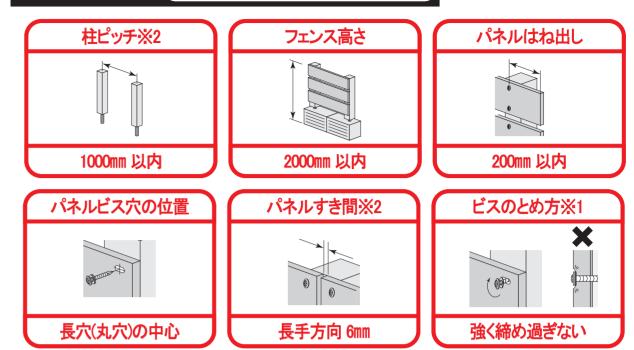
※パネル中間部(間柱)は 丸穴(直径5mm)をあけて 固定してください。

丸穴(直径5mm)

### 注意

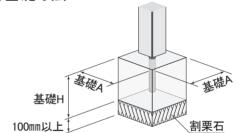
※パネルに曲がりがある場合、両端を 固定した後に中間部を 矯正しながら固定 してください。

# ②最重要寸法 必ず以下の内容をお守りください



※1 インパクトドライバーを使用する際は、ビスがパネルに食込まない程度にしてください。 ※2 パネルの隙間が少ない場合や柱ピッチが広い場合、パネルの曲りや変形の恐れがあります。

### ■参考基礎寸法



フェンスH	鉄芯L	基礎H	基礎A
(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
~1000	200	300	
~1500	350	400	300
~1900	550	600	

※基礎寸法は参考ですので、フェンスタイプや地盤状況、風当り等の 現場により異なる場合がありますので状況に応じてお選びください。

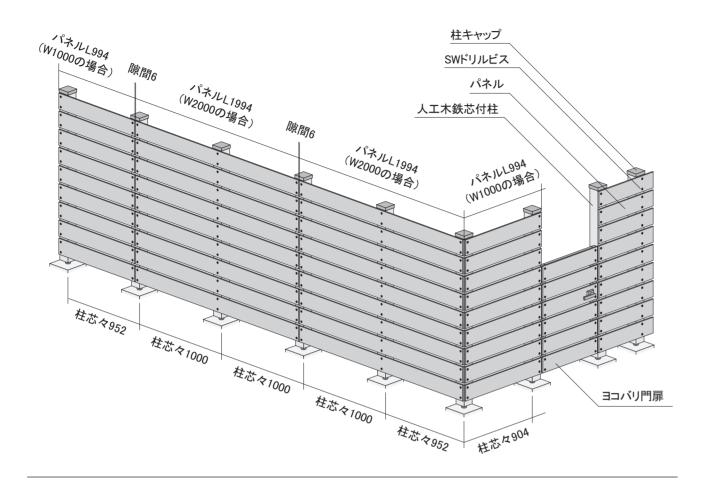
# ③梱包内容

D2軽量樹脂パネル W140×T15	D2軽量樹脂パネル W100×T15	M2人工木パネル
W140 × T15	W100×T15	W135×T15
人工木鉄芯付柱 (柱キャップ付)	SWドリルビス5×35	(ボードフェンス穴あけ治具)
		0000

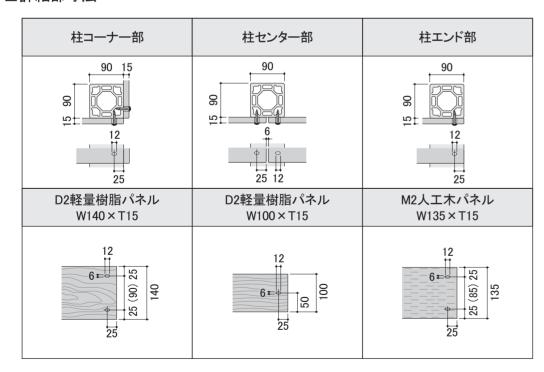
※通常各パネルともL1994(両側穴付)となりますが、現場に応じて長さや穴数が変わる場合があります。 ※通常穴あけ治具は商品に含まれませんので、ご要望に応じてお求めください。

# ④各部名称と基本寸法

### ■各部名称と基本寸法



### ■詳細部寸法



# ⑤寸法一覧表

※すき間は任意となりますので、5mm以上の範囲内であけてください。

D2W140-21S20J	フェンスH (mm)	パネル 段数	鉄芯L (mm)
	554	3	
<u> </u>	714	4	000
20 \	874	5	200
140	1034	6	
20   7	1194	7	250
	1354	8	350
4	1514	9	
	1674	10	550
	1834	11	

W17 C 1/200%			
D2W140-21S80J	フェンスH (mm)	パネル 段数	鉄芯L (mm)
	674	3	200
	894	4	200
	1114	5	350
80 H 140 H	1334	6	350
	1554	7	550
<u></u>	1774	8	550
4			

D2W100-21S20J	フェンスH (mm)	パネル 段数	鉄芯L (mm)
	554	4	
	674	5	
	794	6	200
	914	7	
20 エ 100 K	1034	8	
20 K 100 K 20 H	1154	9	
•	1274	10	350
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1394	11	
4	1514	12	
	1634	13	550
	1754	14	

D2W100-21S80J	フェンスH (mm)	パネル 段数	鉄芯L (mm)
	554	3	
	734	4	000
	914	5	200
	1094	6	
80 K	1274	7	250
80 H	1454	8	350
•	1634	9	550
<u></u>	1814	10	550
株 社			

M2W135-21S20J	フェンスH (mm)	パネル 段数	鉄芯L (mm)
20 135 135 20 10 135 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	539	3	
	694	4	200
	849	5	200
	1004	6	
	1159	7	350
	1314	8	350
	1469	9	
	1624	10	550
	1779	11	

M2W135-21S80J	フェンスH (mm)	パネル 段数	鉄芯L (mm)
135 135 170 124 135 170 170 172 172 172 172 172 172 172 172 172 173 173 173 173 173 173 173 173 173 173	659	3	
	874	4	200
	1089	5	
	1304	6	350
	1519	7	550
	1734	8	

# 取扱説明書

# ネオスクリーンフェンス

[対象商品]

隙間53mmタイプ 全サイズ 隙間32(36)mmタイプ 全サイズ

No.401:13-10版

### 部品の確認

- ※各部材の数量は1スパン(W1000mm)の数量です。
- ※取付けする柱は別途ご用意ください。目安としてアルミ75角(t=2.1)程度のものをお薦めします。
- ※胴縁エンドキャップは、端部のみに使用する為、標準セットには含まれておりません。必要に応じて別途ご注文ください。

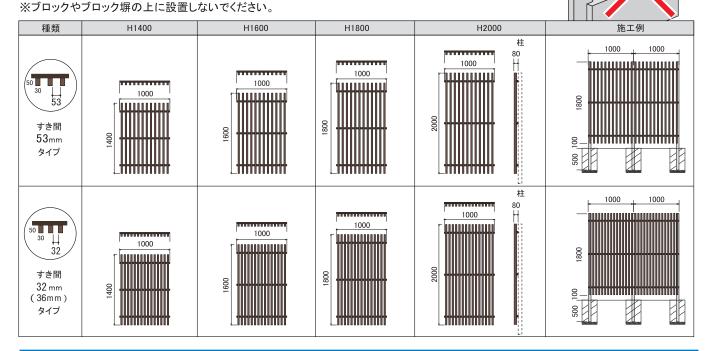
名称	ネオスクリーンパネル		胴縁受け	ドリルビス	
姿図	# H H H H H H H H H H H H H H H H H H H		The second secon		5×25 SW 5×35 18本 12本 胴縁エンドキャップ (別売)
数量	L·C·R 各1セット		3本		



### 基本寸法

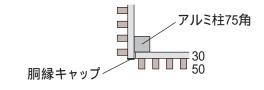
※W1000ユニットは全て3pcs構造になっております。

※埋め込み深さは設置する現場の状況(地盤強度)、条件(基礎の大きさ、控えの有無)等に合わせて判断してください。



### コーナー部の参考納まり図

コーナーがある場合は右図のような納まりで施工してください。 (コーナー部胴縁キャップはどちらか片側のみ必要になります)



### ご使用上の注意

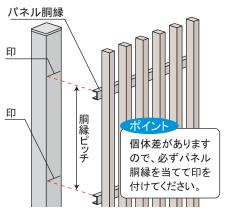
- ●強風や台風などで事故がないよう、設置場所、基礎工事には十分ご注意 し、風が強い場所、積雪の多い地域、地盤が弱い場所は、控え柱等の補強 が必要です。状況に応じて判断してください。
- ●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償 等は致しかねます。

### 施工

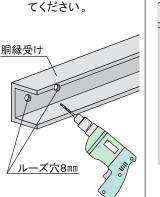
なオスクリーンフェンスパネル(以下パネル)に取り付けてある パネル胴縁 のピッチに合わせて、胴縁受け を取り付けます。

### ■胴縁受けの取り付け

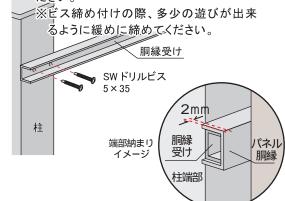
1. 柱に パネル胴縁 を当てて、取り付け 位置に印を付けます。



**2**. 胴縁受けにφ8mm程 度のルーズ穴をあけ てください。



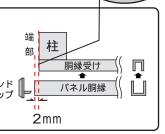
- 3. 柱に 胴縁受け を取り付けます。SWドリ ルビス5×35を使用して柱に仮固定してく
- `ださい。 ╱※ビス締め付けの際、多少の遊びが出来



エンドキャップ納まりの都合上、胴縁受けはパネル胴縁より4mm短くなっています。 胴縁受けを柱に取付ける際は、胴縁受けの端部を柱端部に合わせるか柱端部より外側 に設置してください。

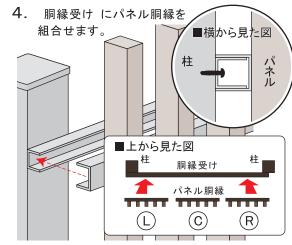
パネル胴縁を胴縁受けに取付ける際は、胴縁受けに対してパネル胴縁が2mm外側に 出るように設置してください。

端部柱は、パネル胴縁端部より2mm内側に設置してください。

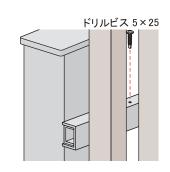


### ■パネルの取り付け

柱に固定した 胴縁受け に パネル胴縁 を取り付けます。

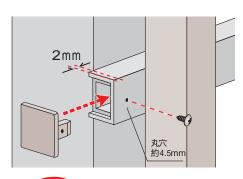


- 5. 三本の胴縁が組 まれた時点で胴 縁受けの仮締め ビス(SW5×35) 柱 を本締めしてく ださい。
- 6. 各パネル胴縁をドリルビス 5×25を使用し固定します。 ※ パネル胴縁 にはビス穴 (ルーズ穴)が付いています。



入りにくい場合はゴムハンマー等を使用し、部材を痛めないないようにして叩き込んでください。

### 7. 胴縁の端部にエンドキャップを取付けください。



キャップ内側にパネル胴縁が約 2mm入り込みます。

### 連結する場合は1.~6.を繰り返してください。

